



勤労感謝の日

11月23日は「勤労感謝の日」です。「勤労」と聞くと働いている人に感謝する日なのかな?と思いがちですが、もともとは「新嘗祭(にいなめさい)」という名前の祭日で、その年の収穫物を神様に捧げ感謝をし、翌年も豊作であるように願う宮中行事だったようです。現在では働くことや仕事そのものを大切な習慣として重んじ、「国民同士が互いに感謝を示し合う日」の意味合いが強いです。祝祭日の由来を理解すると、祝祭日も特別な価値が生まれてくるものですね。

ありがとうがいっぱい!

学校でもいろいろな人の協力で、充実した学習を送ることができています。たくさんの方々に感謝します。ありがとう!

人権教室

人権擁護委員を招いてのボッチャ体験を行いました。ボッチャとはパラリンピックの種目の一つです。車椅子に乗っての競技は難しいものでしたが、体験を通して障害者理解や福祉についても学びました。(4学年)



読み聞かせ

THANK YOU

11月10日よりPTAによる読み聞かせがスタートしました。コロナ禍で感染対策をした中ではありましたが、久しぶりの読み聞かせに、子どもたちも目をキラキラさせてしっかりと聞いていました。これから中学年、高学年と回数を重ねていくそうです。参加して下さった保護者の皆さん、ありがとうございました。(写真は1学年)



職場体験 がんばりました!

与那原中学校の2年生が職場体験に来ました。小学校を卒業して1年半ほどしか経っていませんが、小学生からみたら立派の姉ちゃんです。児童の安全の見守りや学習のお手伝い、休み時間の遊び相手など大活躍!将来の先生の誕生?ですね。



見守り ありがとう ありがとう

毎朝、地域の老人会を中心に、子どもたちの登校を見守ってくれる人たちがいます。交通量の多い329号線、路地など10箇所あまりの立哨を行っています。地域の安全を見守ってくれる人たちに感謝です!



「一生懸命がかっこいい」



先日の運動会、お疲れさまでした。

どの学年も演技もすばらしく、またリハーサル以上のできだったと思います。

観ていたお客さんの中からも「すばらしかった」「感動した」「ありがとうございました」とお褒めの言葉をいただきました。校長としてもとてもうれしかったです。

さて、運動会が終わった後、今年の運動会、どんなところがよかったのだろうと、お客さんの感想から振り返ってみました。

演技のかわいらしさや集団のそろったところ、高学年の力強さなどいろいろありましたが、ほとんどの人が口にしていたのは「みんな、一生懸命でしたね」という言葉でした。みなさんの一生懸命がんばる姿に感動したということでした。

今年の運動会の一番よかったところ。それは、みなさんの一生懸命がんばる姿だったのかなと思います。

もちろん、皆さんの演技もすばらしかったです。ただ、運動会には演技だけでなく競技もあります。競技とはかけっこやリレーなど、勝ち負けを競う種目のことです。みんな一番を目指して競技に望みますが、そこには勝ち負けがあります。誰もが一番になれるものではありません。でも、運動会の競技が終わった後を振り返ってみましょう。結果発表で一番のチームには大きな拍手が送られました。では、二番、三番、四番の結果発表はどうでしたか。同じように大きな拍手が送られていました。それは、勝ち負けなどの結果ではなく、皆さんの一生懸命がんばった姿に送られた拍手です。「がんばる姿」って皆の心に響くんですね。

ある学校のモットーを紹介します。「一生懸命がかっこいい」



与那原小学校にあります

これはある高校に掲示されたものです。生徒の合言葉になっている言葉です。その学校では、普段の生活の中から、一人一人が「一生懸命がかっこいい」を意識し行動しているそうです。おかげで学校生活のどの場面でも一生懸命に取り組む生徒の姿がみられます。この学校ではいじめもなく、ほとんどの生徒が部活に一生懸命取り組んでいるとても素敵な学校です。

「一生懸命がかっこいい」。与那原小学校もそういう学校にしていきたいですね。

最後に、もう一度運動会の写真を振り返ってみましょう。



今日は「一生懸命がかっこいい」というお話でした。